

東京都土地改良だより

第148号



小平市立第六小学校での田植え体験

- 目次 -

- 平成26年度事業計画
- 東京都農業水利協議会開催
- 施設管理技術者育成対策事業第1回研修会
- 第37回全国土地改良大会(山梨大会)
- 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2014
- 水土里ネットニュース

平成 26 年度 事業計画

基本方針

東京の農業は、地域特性を活かした生鮮食料の生産をはじめ花卉・観葉植物などを都民に供給するとともに、農地は生産の場としてばかりではなく、その多面的機能は環境財としての役割を担っており、今後とも良好な状態で保全・管理に努めて行かなければならなりません。

しかしながら、担い手の高齢化と後継者の確保難をはじめ都市化の進展による営農環境の悪化などから、農地の遊休化や耕作放棄が進行するといった状況にあります。

こうした東京農業が抱える現状と課題を踏まえ、農地を優良な生産基盤として整備し担い手に集約しながら保全して行くためには、国の新たな施策を念頭に置きつつ、土地改良事業の手法によって整備して行くことが地域農業の活性化にとって必要不可欠です。

土地改良事業を巡る厳しい情勢の中にあって、国においては農林水産業を成長産業として位置づけ、農政改革に向けた新たな施策の展開が打ち出されており、東京都をはじめ会員並びに関係機関と連携して地域農業の課題に取り組み、きめの細かい事業推進に心がけ、会員共同の利益の増進と東京農業の発展に向けて、定款に定める次の事業を積極的に推進します。

実施事項

1. 中期業務経営改善実践方策の推進と実績検討
2. 土地改良事業に関する技術的指導・援助並びに業務受託
 - (1) 土地改良事業の調査設計・積算及び換地業務の指導・援助
 - (2) 土地改良事業の業務受託
 - (3) 土地改良区への指導・援助
 - (4) その他土地改良事業に関する指導
3. 土地改良事業に対する相談・教育・広報事業
 - (1) 本会職員の質的向上と会員からの相談業務への迅速対応
 - (2) 各種土地改良関係研修会の開催
 - (3) 広報誌「土地改良だより」の発行・配布
 - (4) 参考資料及び各種情報の提供
4. その他本会の目的を達成するために行う事業
 - (1) 国、東京都及び全土連等から委託された調査並びに事業の実施
 - (2) 土地改良制度の改善整備、国及び東京都への農業予算確保の建議、陳情
 - (3) 土地改良事業に功績のあった会員または個人表彰の推薦
 - (4) その他必要な事項

東京都農業用水水利協議会開催

去る 7 月 4 日(金)、東京都農業用水水利協議会を開催致しました。

本水利協議会は、平成 3 年度に多摩川水系・荒川水系・鶴見川水系の 3 つの水系別に設立され、それぞれの協議会で毎年定例会を実施していましたが、農地面積や組合員の減少、担い手の高齢化等から、共通の問題を抱えるそれぞれの水系別協議会を平成 10 年度に統合し、活動を統一的にを行い課題に対処することとしました。

今年は、協議会の終了後に東京都農林水産部農業振興課から、田んぼの生き物調査や水土里の路ウォーキングの案内、多面的機能支払交付金について説明がありました。



多面的機能支払交付金とは？

参加者の方々が取分け熱心に聴いていた内容が「多面的機能支払交付金」の説明です。普段から農業や用水管理に携わる土地改良区や用水組合員、市町村の農業関連担当者ということもあり、質問を交えながら説明を聞いていました。

この「多面的機能支払交付金」(以下、交付金)は、農業農村の多面的機能を維持・発揮するために農地や水路の管理作業などを行なえるように、その費用を国と都が補助するものです。例えば農地の法面の草刈り、水路の泥上げや簡易な補修、植栽による景観形成やビオトープ作りなどがあります。地域住民と連携するなど有効に活用できれば、農業用水の維持に関する負担の軽減と共に農業用水への理解を深める機会となる可能性があります。

田んぼの生き物調査・水土里の路ウォーキング

田んぼの生き物調査は、農林水産省と環境省が連携して平成 13 年度に開始した水田周辺水域に生息する生物調査です。現在は、東京都産業労働局農林水産部農業振興課、東京都農業振興事務所により、都内の農業用水路を対象に田んぼの生きもの調査を行っています。今年は 8 月中旬に、国立市と府中市にまたがる府中用水、府中市の本宿用水、昭島市の昭島用水、稲城市と神奈川県にまたがる大丸用水を対象に調査を実施します。この調査では過去にホトケドジョウやギバチ、トウキョウダルマガエルなど、現在とっては貴重な生き物が見つかっています。

水土里の路ウォーキングは、都内の農業用水路をめぐるコースを歩き、用水路や取水堰等の水利施設を紹介すると共にその役割や歴史に触れることで理解を深めてもらうことを目的としています。今年は JR 青梅線の昭島駅(日枝神社)を出発し、昭島市の昭和用水、八王子市の高月用水、あきる野市の南郷用水と下代継用水を経由して JR 五日市線の武蔵引田駅までを歩くコースとなっています。

農業水利施設等管理者育成対策事業 第 1 回研修会 開催

去る 7 月 4 日(金)、第 1 回研修会を開催致しました。

基幹水利施設の長寿命化を図るためには、施設管理者の計画的な点検・整備を通じて行う機能診断及び機能保全計画策定等が重要となってきます。この研修会は施設の日常管理に携わる施設管理者の技術力向上を目的として平成 24 年度から実施しています。

過去 2 年に渡りテーマを決めて研修会を実施してきましたが、今年が最終年度の研修ということもあり、今までの研修内容を振り返りながら、今後の用水管理に役立てられる実践的な内容で行われました。



意見交換を通じた施設管理の認識共有

今回の研修会は、講義を聞く受動的な内容と、施設管理の認識共有という能動的な側面を持たせた内容で実施しました。前半の講義項目に即した「日常点検」「維持管理工事」、「地域との関わり」、「フリートーク」をキーワード基に行われました。

「日常点検」の中では、「農業用水の管理として役員が自転車で見回りどこで何が起きているかを聞けば大体分かる」と熱心に施設管理を行なっているお話を聞くことが出来たり、「暗渠化により日常点検が難しい」と苦労していたりと実態が良く分かりました。維持管理面でとりわけ苦労しているものとしては、「導水路の工事費用が会計を圧迫している」、「増水後は再度工事が必要となり毎年苦労している」という意見もありました。この他には農業用水は地域住民の貴重な生き物との触れ合いの場であり、水が切れると「生き物が死んでしまう」と苦情が来るほど関心を寄せているといったことも聞くことが出来ました。

「地域との関わり」では、その地域で行われている変わった取り組みについて情報が交わされました。水稻の裏作としてチューリップを栽培して観光地化したり、案山子(カカシ)を作って「かかしフェスタ」を開いたり、ホテルを育てて鑑賞できるようにしたりと、多彩な取り組みについての報告がありました。このような取り組みが「都市農業」や「まちづくり」というキーワードとリンクして、それぞれ独自性をもった「まち」となるようなことが見受けられました。

「フリートーク」では、「工事許可が下りにくい河川区域内に用水路を持ち、財政状況が厳しい所では日常点検や対策工法の話を読んでも架空の話にしか聞こえない」「様々な問題を抱えている中でそれを解決してもらわないと、現実的に維持管理を取り組むのは難しい」といった厳しい意見も出ました。農業水利施設に限らず多くの構造物は、築造されて年月が経つことで少しずつ劣化が進み、やがてはその機能を失ってしまったり、時に事故を起こしてしまったりと問題を抱えるようになります。しかしそれらを点検することは出来ても補修や改修が難しくなっているという現状を表している内容でした。

多くのお話を聞くことが出来た意見交換でしたが、専門的な講義に加えて、こうした情報共有を加えることで、施設管理者の実務に沿った維持管理を考えるきっかけとなるような研修会となりました。

第 37 回 全国土地改良大会（山梨大会）

かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良

10 月 30 日(木)、第 37 回全国土地改良大会（山梨大会）が開催されます。

この大会は、全国の関係者が農業農村を次世代に健全な姿で引き継ぐと共に「健全な農業・農村は豊かな国土と自然環境、地域社会、人の生命(いのち)を育む」というメッセージを国内外に発信することを目的としています。

今回は山梨県を舞台に「富士の国やまなし発 かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良」をテーマに開催します。主な内容は、土地改良に貢献した功績を表彰する式典や、開催地の土地改良優良事例の紹介があります。この他に記念行事として、オープニングアトラクションなどが開催され、盛り上がります。

また翌日には、県内で実施された農業農村整備の代表的な地区の事業視察が行なわれます。



実施要項

- ◆テ ー マ：かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良
- ◆期 日：平成 26 年 10 月 30 日(木)
- ◆場 所：山梨県立産業展示交流館(アイメッセ山梨)
- ◆参 加 者：全国の農業農村整備事業関係者等 3,000 名程度（県外 2,000 名、県内 1,000 名）
- ◆主 催：全国土地改良事業団体連合会、山梨県土地改良事業団体連合会
- ◆後 援

農林水産省、山梨県、山梨県議会、山梨県市長会、山梨県町村会、JA 山梨中央会、山梨県農業会議、(公社)やまなし観光推進機構

- ◆事業視察：県内の先進的な国営、県営農業農村整備事業等の視察を実施

- ◆併催行事

山梨県農業・農村パネル展、山梨県の特産品販売コーナーなど

- ◆お問合せ先

東京都土地改良事業団体連合会 事業課 原山(はらやま) 電話 042-548-0371(代)



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2014 開催

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2013 が開催されます。

この絵画展は農業、農村、原風景、伝統や文化といった貴重な財産を子どもたちに引き継ぐため、関心を持ってもらうとともに、水の循環や環境保全への理解を促すことを目的として開催されています。

今年のテーマは「新発見！ぼくのわたしのふるさと」です。田んぼの様子や農村の風景など、子どもたちの目線から見た「新発見！」を募集します。

応募された作品は、審査後に入賞や入選作品が選ばれ表彰が行われます。入賞入選することのできなかった方々にも、もれなく参加賞をお渡しします。

子どもたちの夏休みの宿題に、思い出づくりに、ふるってご応募ください。



募集のきまり

■応募資格

小学生以下（クラス学校単位での共同作品も可）

■寸法及び仕様

四つ切画用紙サイズ（38cm×54cm）以上 90cm×190cm まで、厚さは 3cm 以内、画材は自由

■内容

作品テーマ「新発見！ぼくのわたしのふるさと」にまつわる題材で自由に描いてください。

「田んぼ」「ため池」「農業用水路」などの風景や水路管理に携わる人、古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、農作業風景など。

■応募期限

平成 25 年 9 月 5 日

■特記事項

- ・グループ等でまとめて描かれる場合は、作品テーマや構図等の統一は在るべく避け、各自が自由に選択できるように心がけてください。
- ・応募作品は未発表のものとし、他の絵画展で入賞、入選など受賞した作品や過去の入賞、入選作品（他の絵画展も含む）などを模写した作品。
- ・応募用紙に必要事項を記入のうえ、1 点ずつの作品のウラ、右下スミに、はがれないように貼り付けてください。共同作品の場合は、代表者名（学級担任等）、全員の名前も明記し、応募用紙の近くに貼付けてください。

■お問合せ先

東京都土地改良事業団体連合会 事業課 長谷(はせ) 電話 042-548-0371(代)

水土里ネットニュース

去る 5 月 29 日(木)、都道府県水土里ネット広報担当者会議に参加致しました。

砂防会館別館にて、全国土地改良事業団体連合会（以下全土連）主催の都道府県水土里ネット広報担当者会議が行われました。全国の土地改良事業団体連合会から 28 名が参加し、全土連が発信する公報関連の情報の共有や、ワークショップが実施されました。

広報関連の情報共有の中で特に注目だったのが、水土里ネット秋田が監修したオリジナル曲と全土連が開発中の小学生向け学習アプリケーションです。

まずオリジナル曲に関しては、2011 年に発生した東日本大震災をきっかけに様々な観点から広報することが、より多くの人へ大切という考えを元に作られたものです。曲調は優しく馴染みやすく、水土里ネットのことを知ってもらえるような歌詞となっています。次にアプリケーションですが、田畑に生息する生き物たちの要望に応じて農業用水を制御して農産物の豊作を狙うものです。こちらは現在開発中ですが、iPod や iPad などの端末で操作可能です。

この他に実務的な研修として、各都道府県土連担当者が仮想の条件下で検討を行なうワークショップが実施されました。内容は「某土地改良区の職員としてウォーキングイベント企画の立案」や「某土地改良事業団体連合会公報担当者として公報業務計画の作成」などで、出席者は盛んに意見を交わしながら「情報の見える化」や「スキーム（体系）作り」などを身に付けていました。

現在多くの各都道府県土連職員は様々な業務を兼任することが多いのが実態です。その中で「公報業務」を効率良く、より効果的に実施していくかが課題となっています。当研修会は情報の共有、他の業務でも活用可能な技術の習得が出来る有意義なものでした。



今年度の主な動き（平成 26 年度 4 月～8 月）

開催日		会議・行事名（主催）
5 月	22 日	第 1 回監事会（東京都土地改良事業団体連合会）
6 月	4 日	東京都土地改良事業等担当者会議（東京都産業労働局農林水産部農業振興課）
	10 日	多面的機能支払予算要求打合せ（都・農業振興課、東京都土地改良事業団体連合会）
7 月	2 日	第 1 回理事会（東京都土地改良事業団体連合会）
	4 日	東京都農業用水水利協議会（東京都土地改良事業団体連合会）
		農業水利施設等管理者育成対策事業第 1 回研修会（東京都土地改良事業団体連合会）
	16 日	平成 26 年度災害復旧事業説明会（東京都産業労働局農林水産部農業振興課）
	7 日	多面的機能支払現地調査（東京都農業振興事務所、東京都土地改良事業団体連合会）



みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

発行所

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL: 042-548-0371 FAX: 042-548-0375
URL: <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>